2026 年 10 月 14 日

2026 年度第 3 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2026 年度第 3 四半期決算を発表しました。

第 3 四半期業績【参考訳文（要旨）】

- 当期純利益及び希薄化後 1 株当たり利益(EPS)は、前年同期における 83 億ドル及び 1.04 ドルと比較して、69 億ドル及び 0.91 ドルとなりました。
  - 規制上の制裁金を除く、調整後当期純利益及び調整後 EPS は、81 億ドル及び 1.08 ドルとなりました。
- 収益(支払利息控除後)は、純受取利息及び資産管理手数料の増加並びに販売及びトレーディング収益及び投資銀行事業手数料の減少を反映し、3%増加して 300 億ドル(FTE ベースで 301 億ドル)となりました。
  - 純受取利息は、8%増加して、164 億ドル(FTE ベースで 166 億ドル)となりました。これは、主として貸出金及び預金残高の増加、グローバル・マーケッツ事業に関連する純受取利息の増加、並びに固定利付資産の金利更改に起因しました。
  - 純利回り(FTE ベース)は、15 ベーシス・ポイント増加して 2.16%となりました。
- 貸倒引当金繰入額は、2025 年度第 3 四半期からほぼ横ばいで、また 2026 年度第 2 四半期の 14 億ドルから減少して、13 億ドルとなりました。
  - 貸倒償却(純額)は、2025 年度第 3 四半期及び 2026 年度第 2 四半期の 14 億ドルから減少して、13 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、24 億ドル増加して 197 億ドルとなりました。営業効率は、66%となりました。
  - 規制上の制裁金を除く、調整後非金利費用は 185 億ドルとなりました。調整後営業効率は 62%となりました。
- 平均普通株主持分利益率(ROE)は、9.4%となりました。平均有形普通株主持分利益率(ROTCE)は、12.6%となりました。平均資産利益率(ROA)は、0.79%となりました。
  - 規制上の制裁金を除く、調整後 ROE は 11.1%、調整後 ROTCE は 14.9%、調整後 ROA は 0.93%となりました。
- **バランスシートは引続き堅調**

- 平均預金残高は、2%増加して 2.02 兆ドルとなりました。
- 平均貸出金及びリース金融残高は、全事業セグメントで増加したため、6%増加して 1.23 兆ドルとなりました。10 四半期連続の平均残高の増加となりました。
- 平均グローバル流動資金は、9,140 億ドルとなりました。
- 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2026 年度第 2 四半期から 32 億ドル減少して、1,980 億ドルとなりました。
- CET1 比率は、10.9%(標準的アプローチ)となり、最低所要自己資本比率を大きく上回りました。
- 22 億ドルの普通株式配当及び 60 億ドルの普通株式の買戻しにより株主に対して 83 億ドルを還元しました。

• 普通株式 1 株当たり純資産は、4%増加して 39.26 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、3%増加して 29.14 ドルとなりました。

プレスリリース原文および注記はこちらをご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較（%）は前年同期比です。